Ｄ＆Ｄ2005 の講演論文の書き方

D&D2005 では，論文集は CD-ROM 論文集とアブストラクト集（印刷物）の二種類を発行いたします．

（アブストラクト集は CD-ROM 論文集の１ページ目を印刷したものを集めて製本します．）

●●●ご参考まで●●●

製本印刷版講演論文集（MOVIC2005）との相違点は以下の通りです．

（１）主な変更点

①**1 ページ目** ： 論文題目，著者名(所属)，英文アブストラクト（80-100 words），Keyword などは製本印刷版講演論文集の書式と同じですが，その後には**内容の充実した和文アブストラクトを付けます．図表を掲載することもできますが，1 ページで完結させて下さい．**特に章立てする必要はありませんが，章を設ける場合は A1，A2 などとして下さい．図番，表番は Fig.A1，Fig.A2，Table A1，Table A2 などとして下さい．具体例は**別紙１参照**．（全てを英文で書かれる方は英文アブストラクト（80-100 words）は不要です．）

②**2 ページ目以降**から本文を書き始め，緒論，解析，実験，結論，文献等を続けて下さい．①の図や表と同じものを用いてもかまいませんが，本文内の図番，表番は従来通り Fig.1，Fig.2，Table 1，Table 2 等として下さい．**別紙２参照**．

（２）講演論文の長さ

①と②を合わせた論文が CD-ROM 論文集に掲載されます．その長さは **A4 用紙 6 ページ以内**，かつ，PDF 変換したときのファイルの大きさが **1.4MB(メガバイト)以下**として下さい．ただし，動画はご遠慮下さい．

（３）PDF 化する際に使用できるフォントについて

日本語フォントは以下のフォントを使用して下さい．

MS 明朝，MS ゴシック（Windows）
細明朝，中ゴシック（Macintosh）
リュウミンライト・中ゴシック BBB（Unix）

欧文フォントについては，Courier, Helvetica, Times, Time New Roman, Symbol については標準でサポートしているので，問題なく使用できます．

ただし，上記以外のフォントを使用した場合は，PDF 化が困難になる場合があり，ご希望通りの表示がされない場合がありますのでご注意下さい．

（４）式について

式の前を 2 文字空けて次のように記載して下さい．アブストラクトの式番号には”A”を付けて下さい．

□□ $m\ddot{x} + c\dot{x} + kx = f$ ･･････････････････ (A1)

別紙 1 に 1 ページ目（アブストラクト），別紙 2 に 2 ページ以降の書式を示します．

別紙1

和文表題：ゴシック体 12pt

D&D2005 の講演論文の作成要領

Sample Form of D&D2005 Paper

英文表題：Times 12pt

和文著者名，所属：明朝体 10pt

○正　機械　太郎（機械大）　　准　機械　次郎（機械重工）
学　機械　三郎（機械大）

Taro KIKAI, Kikai University, Shinanomachi35, Shinjuku-ku, Tokyo
Jiro KIKAI, Kikai Heavy Industries Ltd.
Saburo KIKAI, Kikai University

英文著者名，所属，連絡先：Times 10pt

英文アブストラクト，キーワード：Times 9pt

This sheet is an example of a paper which has been prepared according to the following instructions. Use a white A4-size paper(210x297mm). Marginal spaces are top area:20mm, bottom area: 20mm, left area: 15mm, right area: 15mm and space between the columns: 10mm. No special typing sheets will be provided. Title should be typed in 12 points. Text should be typed in 9 points. Photographs, illustrations and tables must have captions. For the best reproduction of line drawings, paste the original drawings at appropriate spaces. An English abstract consists of 80 – 100 words.

Key Words: Dynamics, Design, Vibration, Control, Measurement

和(英)文アブストラク

Ａ１．はじめに

ここから和文あるいは英文のアブストラクトをこのページに収まるように書いて下さい．特に章に分ける必要はありませんが，分ける場合は A1，A2 などとして下さい．

この文書は，D&D2004 における講演論文の書き方について記述したものです．なおこの文書は講演論文の書式に従い作成されています．

Ａ２．用紙サイズ

・用紙サイズ：A4
・左右の余白：15mm，上下：20ｍｍ

Ａ３．Extended abstract(1 ページ目)の書式

Ａ３・１　表題，著者名など　以下の順に記載して下さい．

- 表題（和文，英文，12 ポイント以上の文字を使用）
- 会員資格，著者名，所属（和文，所属は括弧で囲んで略記，講演者には○印）
- 著者名，所属，所在地（英文）
- 英文アブストラクト（80 から 100words 程度）
- 英文キーワード（5 語句程度）

Ａ３・２　和文アブストラクト

- 2 段組，中央に 10ｍｍの空白
- 文字サイズ，9 ポイント
- 片段 26 文字，40 行以内

Ａ３・３　図，表，写真

- 図表のタイトルならびに説明は英文で記載
- できるだけ鮮明なものを使用
- 図表中の文字は 7 ポイント以上を使用

Ａ３・４　式　式の前を 2 文字空け，以下のように記載します．アブストラクトの式番号には“A”を付けて下さい．

□□ $m\ddot{x} + c\dot{x} + kx = f$ ･･････････････････････ (A1)

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

1ページ目 (Extended abstract)

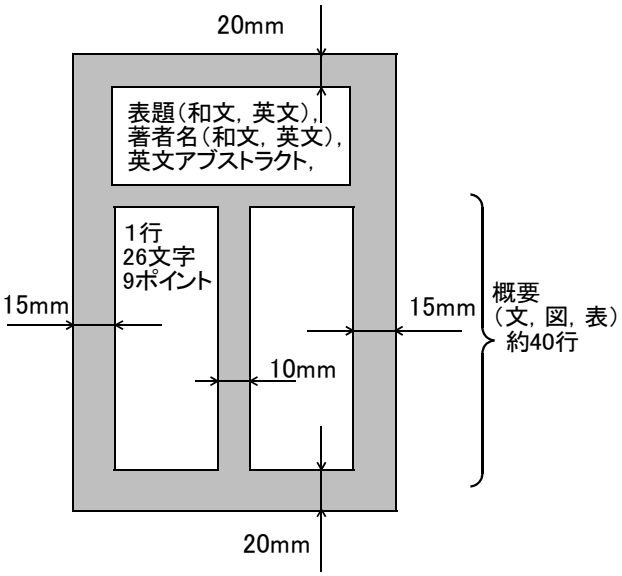

Fig. A1 Extended abstract

別紙2

１．はじめに

ここからは従来の講演論文集の本文と同じです．この書式は文献[1]に詳細が書かれていますので，ご参照下さい．

２．用紙サイズとページ数

・用紙サイズ：Ａ４
・左右の余白：15mm，上下：20ｍｍ
・6 ページ以内. ただし, PDF ファイルの大きさは, 1.4MB(メガバイト)以内

３．2 ページ目以降の書式など

図 1 に示すように，ほぼ 1 ページ目と同じです.

３・１　本文

・2 段組，中央に 10ｍｍの空白
・文字サイズ，9 ポイント
・片段 26 文字，60 行以内

３・２　図番，表番，式番号　　従来通りです.

４．文　　献

本文中の引用箇所には，文章の右肩に小括弧を付した番号を記入し，原著文献を末尾にまとめて明記して下さい.

2ページ目以降

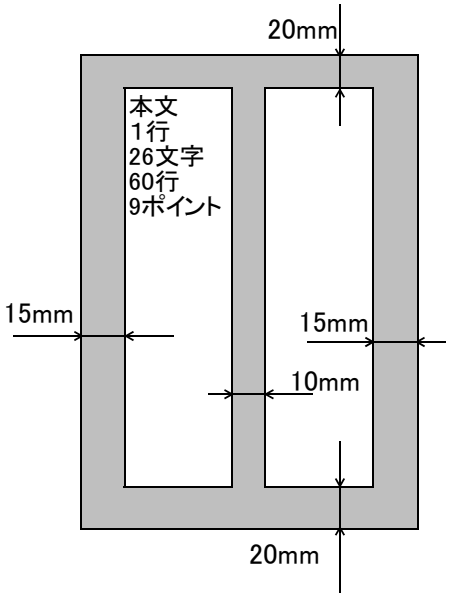

Fig.1　Layout of paper

文　　献

(1) 日本機械学会誌，5 月号，Vol. 102, No. 966, (1999), 103－105,（告 207－209）
(2) 機械太郎，機械次郎，振動に関する研究，機論，100－200，C(2000)，82－88
(3) J. P. Den Hartog, Mechanical Vibrations, Dover, (1985)
(4) 機械三郎，PDF について，機講論, No.00-20(1), Vol. A, (2000), 34－35